

ありがとう！！八本松中央幼稚園 川上西部保育所

八本松中央幼稚園 川上西部保育所 閉園

「八本松太陽こども園」開園に伴い。川上西部保育所（以下、西部保育所）では、3月7日（火）、八本松中央幼稚園（以下、中央幼稚園）では3月19日（日）に閉園セレモニーが開催された。

川上西部保育所は昭和24年「川上村中央保育所」として開設されて以降、2297名が卒園、74年の歴史に、中央幼稚園も50年の歴史に幕をおろした。

西部保育所では年中、年長の子どもたちを中心にセレモニーを開催。



川上西部保育所閉園セレモニーの様子

中央幼稚園では八本松自治協全域に回覧が配布され、卒園生や、地域住民にも声がかかけられ、多く

八本松中央幼稚園では園庭で閉園セレモニー開催



先生も参加し、上演「おひさまはらっぱ」

の卒園生が来場した。中には親子二世帯中央幼稚園卒園という親子づれもいた。セレモニーでは「おひさまはらっぱ」が閉園を記念し、限定復活。劇「おおきなかぶ」や歌で現在在籍する園児、卒園生も含め大変な盛り上がりであった。

八本松太陽こども園竣工 受け継ぐ地域子育て拠点



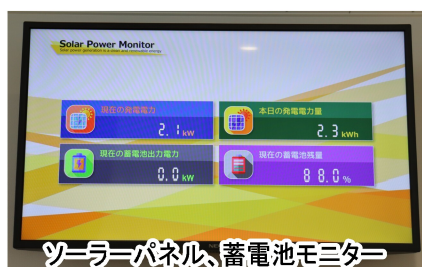
八本松太陽たこども園

八本松住民自治協議会（会長 土久岡章治）から土久岡会長、八本松中央自治会（会長 常光聡）からは高山副会長が参列した。

川上西部保育所、八本松中央幼稚園閉園に先駆け、新設される八本松太陽こども園では2月23日（木、祝日）に竣工式が執り行われた。



1F保育室 手洗場、トイレ(奥右)が隣接



竣工式の様子

ペットを通じ広げる助け合いの輪 防災部会 「ペット同行避難 座談会」

八本松住民自治協議会 防災部会（会長 牧野美三夫）は3月11日（土）ペット災害危機管理士小林 由季子氏を講師に迎え「ペット同行避難座談会」を開催した。

座談会を始める前に震災12年を迎えた東日本大震災の犠牲者追悼のため30秒間黙とうをささげた。



ペット災害危機管理士 小林 由季子氏

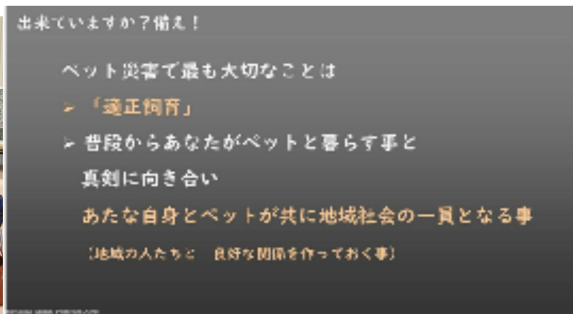
ペットの被災事例として、転倒した家具の下敷き、外飼いにより安否確認不明、避難所受け入れの認識などがあげられ、まずは自助！飼い主が無事であれば、ペットを守れない。」という大事なポイントが話された。

「ペットの被災事例として、転倒した家具の下敷き、外飼いにより安否確認不明、避難所受け入れの認識などがあげられ、まずは自助！飼い主が無事であれば、ペットを守れない。」という大事なポイントが話された。

ト用持ち出しグッズではトイレバッグ、非常食、水、消毒、折り畳み食器などがセットになったペット用防災バッグなどが紹介された。

また、座談会のテーマ「自助を進めるためにあなたは何をしますか？」では災害時の備えについて、適正飼育の大切さの説明があり、参加者同士で意見交換した。又、土久岡自治協会会長からは阪神大震災被災者の体験談として、避難所で低体温症で命の危険があった子どもを同じく避難されてきた盲導犬が、一歩も動かず子どもに寄り添い、救急搬送するまで子どもを温め続け、一命を取り留めた話が紹介された。

アンケートでは、95%以上の方から「わかりやすかった」と回答があり、「避難所に愛犬愛猫を連れていけないので安心した」「同行避難は普段のしつけが大切だということを知った」「デイスカッションで地域の方と意見交換できてよかった」「座談会を継続してやってほしい」などのご意見も聞かれた。



座談会で参加者の意見を傾聴

市外からも注目の活動形態

廿日市 アイラブ佐方自治会視察

2月26日（日）廿日市 市 佐方地区の「佐方アイラブ自治会」のコミュニティ事務局から橋本 和博局長、犬養 匡彦副局長をはじめ計5名の方が八本松中央自治会（会長 常光 聡、以下 中央自治会）中央自治会の活動視察として、アルミ缶回収や班長会の様子を見学された。その後、地域センター事務所に移動、中央自治会で作成されている班長向けに作成された班長マニュアルを説明した。このマニュアルでは年間スケジュール、連絡先、自治会内地図、資源ごみ当番、粗大ごみ当番表などが一つのファイルにまとめられている。この他、中央自治会での自主防災会、民生委員、地区社協一体の

2月26日（日）廿日市 市 佐方地区の「佐方アイラブ自治会」のコミュニティ事務局から橋本 和博局長、犬養 匡彦副局長をはじめ計5名の方が八本松中央自治会（会長 常光 聡、以下 中央自治会）中央自治会の活動視察として、アルミ缶回収や班長会の様子を見学された。その後、地域センター事務所に移動、中央自治会で作成されている班長向けに作成された班長マニュアルを説明した。このマニュアルでは年間スケジュール、連絡先、自治会内地図、資源ごみ当番、粗大ごみ当番表などが一つのファイルにまとめられている。この他、中央自治会での自主防災会、民生委員、地区社協一体の



組織図を説明を受けるアイラブ佐方自治会のみなさん(右) 自治協役員と記念撮影(左)

東広島・安芸バイパス 開通

ウォーキングイベント・開通記念式典開催



八本松自治協、八本松88石仏の会のみなさん



自治協ブースへ立ち寄るウォーキング参加者

3月12日ウォーキングイベント

3月12日（日）、国道2号線東広島バイパス、八本松西ランプ付近で開通イベントが開催された。イベントでは八本松住民自治協議会（会長 土久岡 章治）もイベントに協賛。協議会活動形態紹介のパネル展示、西日本豪雨災害記録動

面上映を
行った。
同ブース
で「八本

松八十八石仏の会」も石仏配置のジオラマ、写真の展示を行った。
開通前に国道2号線専用道路の大山トンネル往復が可能ならぬウォーキングコースが設けられ、キッチンカーの出店、八本松太鼓をはじめ、諸団体

19日 記念式典

3月19日（日）にはこの日17時30分から正式開通するバイパスの開通記念式典が海田中学校で行われ、式典前アトラクションで八本松中学校ギター・マンドリンクラブが演奏を行った。



八本松中学校
ギターマンドリンクラブ演奏

求められる丁寧な事業計画説明

央会
自治
市中

区画整理事業説明会

2月26日、市 区画整理事業の住民向け説明会が八本松集会所で開催された。今回の説明会では今年度予定の駅前造成工事、それに伴う駅前国道を迂回する八本松1号線の道路工事が説明された。

さらに、国道2号線バイパス方面から八本松中央自治会地区へ向かう道路の側溝整備も説明された。

この側溝は西日本豪雨発生時に下流にある山田脳神経外科付近をはじめ周辺地区が床上浸水した。今後さ

らに本格化する駅前再開発事業は、住民の安全安心を担保しながら再開発が進む。引き続き地域住民に対し、より一層丁寧な説明による施工が求められる。



市 都市計画課による説明